

- ・ 観察コースと内容：鳥の博物館→フジ棚→滝前広場→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- ・ 観察日時/天気：2008年2月9日（土）10:30～12:00/晴れ
- ・ 参加者：15人
- ・ スタッフ:9人（敬称略・五十音順）：石原直子、伊藤茂子、木村稔、中井清子、中野久夫、弘實さと子、水上香苗、保田行弘、湯瀬一栄
- ・ 鳥博職員：岡廣志、村松和行

### 観察記録ー1月に観察した生き物リストー

【鳥類】カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、キジ、バン、オオバン、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、アカハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、アオジ、オオジュリン、コイカル、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、バリケン、ドバト

#### 【パンフレットのクイズの答え】

##### 冬鳥トピックス1 「くちばしクイズ！」



A. シメ

##### 冬鳥トピックス2 「どっちが若鳥？～ユリカモメ～」



A. 成鳥



A. 若鳥

##### 冬鳥トピックス3 「カイツブリの仲間たち」



A. カイツブリ



# 2月の観察アルバム 2月のテーマは冬鳥を見よう!でした

## 観察した鳥は43種! (家禽含む)



**タンギ**

**ツグミ**

**モス**

**コイカル発見!**

用心深いてなかなか姿を現さないタンギも見ることができました!

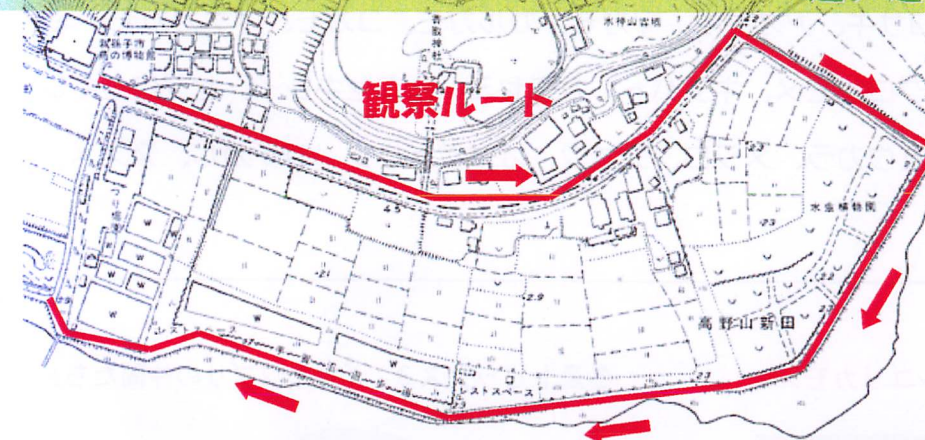
胸をはって地面をホッピングする姿は今年は何月まで見られるでしょうか。

色んな声を真似ていました。オスとメスのペアを多く観察したので繁殖期の始まりを感じました。

イカルより小さく1.8cmほどのアトリの仲間です。体が褐色味があります。ちょっと珍しい冬鳥です。

**遊歩道**

**観察ルート**



**アオジ**

**オオジュリン**

**ジョウビタキ**

**エナガ**

警戒心が強く藪にいるアオジですがこの日は枝に止まりじっとしていたのでよく観察できました。

オオジュリンの夏羽は頭が黒くなります。手賀沼では冬羽ですが少しずつ黒い羽が見えてくる場合があります。

ジョウビタキの♀が観察できました。次列風切羽の白い部分とオレンジ色の羽毛が目立ちます。

エナガとシジュウカラの混群がいました。ジュリリという声がたくさん聞こえました

**ヨシ原**



**トビ**

上空高くをトビが旋回していました。トビは手賀沼ではあまり観察されない鳥でしたが、最近よく観察されます。

**ノスリ**

飛んでいる姿をみると翼の下面の翼角部分の黒い斑が目立ちます。

**オオタカ**

写真は成鳥ですが今回は茶色い幼鳥でした。他のタカよりも翼が短めに見えます。胴体も太く見えます。も観察できました。

**ミサゴ**

飛んでいると白い色が他のタカの仲間よりも目立ちます。

**タカの仲間がたくさん観察できました!**

**冬に訪れるカイツブリの仲間たち**



**ハジロカイツブリ**

今回のがたんの後半で観察できました。赤い目と目の下から首にかけて白いことが特徴です。くちばしが少しそり気味に見えます。手賀沼には冬鳥として飛来します。あまり数は多くありません。

**ミミカイツブリ**

ハジロカイツブリと同じように冬鳥ですがもっと数が少なく、今回のがたんでは観察できませんでした。遠くから見るとハジロカイツブリと似ていますが、顔の白さがはっきりしていて胸まで白いことが特徴です。くちばしはそっていません。目とくちばしの基部が赤い色をしています。



**カムリカイツブリの夏羽への換羽**

**手賀沼**